

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 102-0093

住 所 東京都千代田区平河町二丁目16番1号

氏 名 DREAMプライベートリート投資法人

執行役員 萬野 雅史

印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	DREAMプライベートリート投資法人		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市高津区北見方3-14-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	貸事務所業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3,559	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022 年度 ～ 2024 年度 (報告年度 2024 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	当社の地球温暖化対策の取り組みについては、ホームページにて公表しています。 https://dream-dpr.com/esg/environment.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況(第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 7,362	(実) 7,034	(実) 6,600	(実) 1,213	(実) 7,141
	(調) 4,725	(調) 0	(調) 5,167	(調) 195	(調) 4,583
削減率		(実) 4.5%	(実) 10.4%	(実) 83.5%	(実) 3.0%
		(調) 100.0%	(調) -9.4%	(調) 95.9%	(調) 3.0%

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値(任意記載)

原単位等の活動量	延床面積×稼働率×営業月数÷12				原単位等の単位	t-CO2/m2
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値	
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)		
排出量原単位等の値	0.03263	0.03118	0.02926	0.005319	0.03165	
活動量の値	225,561	225,561	225,561	228,042	-	
排出量原単位等の削減率		4.4%	10.3%	83.7%	3.0%	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	自然エネルギー由来の環境価値であるFIT非化石証書を購入することで電力のCO2フリーを維持し、温室効果ガスの削減を実現。	
第2年度	自然エネルギー由来の環境価値であるFIT非化石証書を購入することで電力のCO2フリーを維持し、温室効果ガスの削減を実現。また、次年度には太陽光設備の稼働を予定しており、創エネによるCO2フリーの電力供給の実現を目指す。	
第3年度	電力契約を再エネプランへ切り替えたことにより、温室効果ガスの削減を実現。また、予定されていた太陽光設備が2025年2月より稼働し、創エネによるCO2フリーの電力供給を実現。上記結果として、大幅なCO2排出量削減に至った。	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		非化石証書の購入と再エネプランへの切替によるCO2フリーを計画的に実施。また、太陽光設備の設置に伴う創エネにより大幅な排出量削減を実現。基準年度対比83.5%の削減率と目標を大きく上回る結果となった。
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		計画期間においては、省エネ施策及び創エネ設備の設置により排出量削減目標を達成した。今後も継続的に削減施策の実施をしていく。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況(全社目標)(任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>①物流施設内の照明LED化の推進。 ②年間を通して各物件のエネルギーデータをモニタリングし、使用量の検証を行う。 ③太陽光発電設備導入の検討。</p>
<p>第1年度</p>	<p>①物流施設内の照明LED化の推進。 ②年間を通して各物件のエネルギーデータをモニタリングし、使用量の検証を行う。 ③太陽光発電設備導入の検討。 ④FIT非化石証書の購入により温室効果ガス削減の実現。(追加実施)</p>
<p>第2年度</p>	<p>①物流施設内の照明LED化の推進。 ②年間を通して各物件のエネルギーデータをモニタリングし、使用量の検証を行う。 ③太陽光発電設備の導入に着手。MCUD川崎1において100%自家消費(容量1,990kw)の太陽光発電設備を2025年4月に稼働予定。試算上は本物件の電力使用量の約25%を賅える見込み。(追加実施) ④FIT非化石証書の購入により温室効果ガス削減の実現。</p>
<p>第3年度</p>	<p>①物流施設内の照明LED化の推進。 ②年間を通して各物件のエネルギーデータをモニタリングし、使用量の検証を行う。 ③太陽光発電設備の導入。MCUD川崎1において100%自家消費(容量1,990kw)の太陽光発電設備が2025年2月より稼働開始。(追加実施) ④FIT非化石証書の購入により温室効果ガス削減の実現。 ⑤電力契約を再エネプランへ切替えたことにより温室効果ガス削減の実施(追加実施)</p>
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>計画取組はすべて達成。太陽光設備の導入や再エネプランへの切替など当初計画外の項目についても積極的な取組みを行った結果、大幅なCO2削減を実現できた。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	○	MCUD川崎 I において2025年2月より太陽光発電設備(容量1,990kw)の稼働開始。
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
電力	再生可能エネルギープランの導入 (MCUD川崎 I) ※2022/1~2022/3 合計2,829,042KWH	2021
その他	FIT非化石証書の購入(3,470,948kWh分)	2022
その他	FIT非化石証書の購入(14,965,511kWh分)	2023
その他	FIT非化石証書の購入(2,381,973kwh分)	2024

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 (使用量モニタリングシステム)	○
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	・節電ポスター掲示による省エネ啓蒙活動。
第1年度	・節電ポスター掲示による省エネ啓蒙活動。
第2年度	・節電ポスター掲示による省エネ啓蒙活動。
第3年度	・節電ポスター掲示による省エネ啓蒙活動。

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	・環境に配慮した再生可能エネルギーメニューへの切替検討。 ・3Rポスターの掲示。
第1年度	・FIT非化石証書の購入によるCO2削減。(追加実施) ・3Rポスターの掲示。
第2年度	・FIT非化石証書の購入によるCO2削減。 ・3Rポスターの掲示。 ・太陽光設備の導入に着手。(追加実施)
第3年度	・FIT非化石証書の購入によるCO2削減。 ・電力契約の再エネプランへの切替によるCO2削減。(追加実施) ・3Rポスターの掲示。 ・太陽光設備の稼働開始。(追加実施)

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源CO ₂ 排出量	7,362 t-CO ₂	7,034 t-CO ₂	6,600 t-CO ₂	1,213 t-CO ₂
原油換算エネルギー使用量	4,158 KL	3,855 KL	3,750 KL	3,559 KL
事業所の数	2	2	2	3

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
MCUD川崎 I	神奈川県川崎市高津区北見方3-14-1	6,143	5,705	5,526	1,006

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
川崎水江物流センター	神奈川県川崎市川崎区水江町4-6	1,219	1,329	1,074	202